



# 伊那弥生ヶ丘高校同窓会報

平成30年8月1日発行

第9号



創立当時の授業（生花指導）風景



**学校創立** 1911年（明治44年）

**卒業生総数** 26,261名 平成30年3月末現在（伊那高等女学校等5,088名・伊那那弥生ヶ丘高等学校21,173名）





## ご挨拶

同窓会長 久保田 裕子

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会の皆様、お変わりございませんか。

今年もまた、会の最大行事であります総会が5月26日に行われました。

同時開催の同窓会員による弥生展は会員の要望により、今年は工芸、クラフトなどの出品が加わり、押し花、刺繍、



パッチワークなどの華やかな会場に入場者も増え、うれしいことでした。また舞台発表は『がんばっている後輩を応援したい』ということで、音楽部、邦楽部、ダンス部に参加いただきました。生徒さんのご家族やお知り合いも駆けつけ会場がいっぱいになる中、それぞれの部が日ごろの練習の成果を発揮した素晴らしいパフォーマンスに皆熱い思いがわき、盛大な拍手が続きました。

また今年より文化祭（弥生祭）に同窓会も参加することになり準備を進めています。

こうした交流が在校生と同窓生との絆となり、その絆がとりもなおさず母校への支援と会員相互の親睦につながっていることを痛感しています。



## 不思議な縁

学校長 駒瀬 隆

同窓会の皆様方には、日頃より母校の教育活動に対しまして、様々なご支援、ご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。2年目となりますが、よろしくお願いいいたします。

私は、今年度で高校教員生活32年目となりますが、高校教員になるきっかけを作ってくださった高校時代の恩師K先生が、最後に教鞭をとっていたのが、この伊那弥生ヶ丘高校でした。都内のある大学の教育学部に入学したものの、さしたる将来のビジョンを持っていなかった自分に対して、帰省し先生のご自宅にお邪魔する度に、高校教育の魅力ややりがいなどを熱く語ってくれました。しかし、K先生は病のため48才の若さで亡くなりました。

今こうして、自分が、K先生が最後に教鞭をとっていた伊那弥生ヶ丘高校を預かる立場にいることに不思議な縁を感じるとともに、責任の大きさもひしひしと感じております。今でも、「駒瀬、しっかりやっているか?」と言う声が校内から聞こえてくるようです。意思半ばで亡くなられK先生の分まで、今後とも本校の教育活動充実のために尽力してまいります。



### 第一校歌

作詞・宮澤 章二  
作曲・中田 喜直

天に 雲生む 仙丈と

呼び合う 西駒 伊那の空

友よ 悔いなき 青春を

この丘に 求め いのち磨く

われらの胸に 照る光

### 第二校歌

作詞・小沢多田市  
作曲・清水 勝蔵  
編曲・川口 耕平

高嶺そひやく伊那の丘

千歳の秋の根をしめて

霜にひるまぬ頸節の

力にめくむ少女草



# 平成30年度役員組織

<敬称略>

<b>会 長</b>	<b>顧 問</b>
久保田裕子	学 校 長 駒瀬 隆
<b>副 会 長</b>	教 頭 小池 千尋
鈴木のり子	事 務 長 吉澤 淳
西原 功	同窓会担当職員 向山 昇治
	// 伊藤 圭子

<b>常 任 理 事</b>	<b>理 事 (支部長)</b>
組織検討委員会	坂 下 滝沢 宏枝
○小松 正芳	三 義 北原 房子
教養文化委員会	荒 井 原 静江
○守屋あつ子	長 谷 宮下 真弓
広瀬夏葉子	宮 田 奈良崎典子
百瀬 哲也	赤 穂 宮澤 玲子
丸山 紀子	東 伊 那 伊藤かおり
酒井裕美子	中 沢 下島 啓子
会費委員会	境 大住真由美
○木下久美子	日 影 池上 光江
宮坂 紀子	上 の 原
下島 典子	伊那東南 馬場 規生
広報委員会	伊那東北 宮原 和彦
○中村 繫子	美 原 小平 節子
小林 里美	伊那西部 網野 喜彦
征矢 初喜	美 篤 酒井さつき
高校改革研究委員会	手 良 神林 恵子
中村 繫子 広瀬夏葉子	東 春 近 井口きくみ
守屋あつ子 小松 正芳	西 春 近 橋爪つや子
下島 典子 百瀬 哲也	富 県 小牧 洋子
木下久美子	新 山 井上ゆきみ
	西 箕 輪 清水かおる
	高 遠 田中みのり
	藤 沢 北原 叔子
	河 南 宮原 恵子
	長 藤 伊藤 千春
	三 義 北原 房子
	長 谷 宮下 真弓
	宮 田 奈良崎典子
	赤 穂 宮澤 玲子
	東 伊 那 伊藤かおり
	中 沢 下島 啓子
	飯 島 桃澤佳代子
	中 川 中村喜久恵
	南箕輪北部 倉田るみ子
	南箕輪南部 鹿角 幸子
	箕 輪 木村 温美
	木 下 征矢 紀子
	松 島 矢澤 和枝
	箕輪北部 矢部 正子
	箕輪西部 唐澤 房代
	東 箕 輪 小嶋千枝子
	辰 野 金子 恭子
	宮 木 小松 智之
	竜 東 上條 真弓
	辰野北部
	辰野南部 宮原 穂波
	小 野 小野 幸江
	東 京 阿部さつき

<b>監 事</b>
金沢 妙子
原 紀子

<b>幹 事</b>
各卒業回数 のクラス代表

<b>事 務 局</b>
田中真奈美









# 今年度当番生より

## ◇同窓会を終えて

下井 優子 (高校29回)

今年度、当番学年役員として同窓会に関わらせていただき、誠にありがとうございました。不安の中でスタートした役員会もそれぞれの方が率先してできることを引き受けてくださり、皆で力を合わせて今年度の形を作り上げることができました。凜とした総会と懐かしい友人との再会、在校生の皆さんによる心に響くクラブ発表、卒業生によるアトラクション等、すべてが弥生ヶ丘高校の同窓生でなければ味わうことのできない感動と感謝のひと時でした。

今回の経験を通して、今まで知らずにいた同窓会の良さを知ることができ、私の中に大きな変化をもたらしてくれた貴重な体験となりました。

役員は終わりましたが、これからも陰ながら母校及び同窓会の発展を応援していきたいと思います。



## ◇平成30年度同窓会総会・懇親会の当番生を終えて

高橋 里江 (高校39回)



最初に役員のお話をいただいたときは、「いったいどんなことをするのだろう」と、大変不安でした。そして11月の第1回の役員会で学年の代表を仰せつかりましたが、そのときもまだ「いったいどんなことになるのだろう」という気持ちでした。それでも、会議を重ねるうちに懇親会のあり方も見え、またほかの当番生の方々と交流を深める中で「これならいける」という自信が持てるようになってきました。

実際当日を迎えてみれば、大きな問題もなく無事終わることができ、また参加された皆さんからも「良かったよ」とのお言葉をいただくことができました。

今年度の当番生は、29回生代表の下井優子さんをはじめ、本当に素晴らしい方々ばかりで、そんな方々と巡り合えたことに感謝の気持ちで一杯です。

同窓会に関わる皆さんに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 平成31年度総会のお知らせ

- ◆期 日 平成31年5月25日(土)
- ◆会 場 伊那市生涯学習センター「いなっせ」5階会議室・6階ホール
- ◆当番学年 高校30回(昭和53年3月卒業)、高校40回(昭和63年3月卒業)

## 弥生展のお知らせ

※絵画・工芸作品を展示します。

- ◆期 日 平成31年5月20日(月)～26日(日)
- ◆会 場 伊那市生涯学習センター「いなっせ」2階 展示ギャラリー

※同窓生の皆様の素晴らしい交流の場となるような会にしたいと思いますので、ぜひ多くの皆様のご出席をお願いいたします。  
詳細につきましては決まり次第ホームページ等でお知らせします。

## ◆平成29年度 事業報告◆

### 事業

事業名	内容
会費制の充実、整備	◇在学時の終身会費納入の導入を決定した。 ◇会費制の定着を図るための資料の提供、また、支部役員会へ積極的に参加することにより、支部の状況を把握するとともに会費制について周知徹底を図った。
組織の充実	◇支部実態調査の結果を検証し、組織が機能するための支援について検討した。 ◇会費集金額の2割を還元し、組織の充実等の資金として活用できるよう支援を行った。
情報の発信	◇会報を発行した。 ◇ホームページを活用して迅速な情報発信を行った。
母校の教育活動支援	◇教育諸活動への支援を行った。 ・クラブ活動助成(全国大会出場クラブ、総会協力クラブ) ・学力向上、進路実現のための支援事業(弥生塾)への助成 ・学校備品の寄贈 ◇卒業生へ記念品(卒業証書ホルダー)の贈呈。

**会議等** ○総会1回 ○理事会3回 ○常任理事会4回 ○専門委員会6回

**その他** ・全国大会出場クラブ激励会 卒業生記念品贈呈式 支部学校訪問受け入れ  
PTA・学校・同窓会三者懇談会 他

総会では、長野県立歴史館の館長で歴史学者の笹本正治先生の講演会を行い、地元が誇る歴史とその真実についてお話を聞きすることができました。母校のクラブの活動を紹介する場の一つとして、茶道クラブによる呈茶サービスを初めての試みとして行いました。他にも多くの母校クラブのご協力により会を盛り上げていただき、総会が会員同士のみならず、在校生との交流の大切な機会となっています。また弥生展については、会場を2階の展示ホールに移し、期間も一週間に延長して会員の美術作品を展示紹介しました。

平成24年度より会費制を導入し、その後終身会費制、在学中の終身会費一部納入等、集金に係る負担軽減や同窓会への意識を高めていただくために改善、定着を進めてまいりました。

### 平成29年度 一般会計 決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収入 12,829,395円  
支出 12,256,239円  
差引 573,156円 (次年度へ繰越)

#### 収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 繰越金	363,628	363,628	0	前年度より
2 会費	8,205,000	12,294,000	4,089,000	会費、入会金
3 繰入金	0	0	0	基金積立会計より繰り入れ
4 雑収入	372	171,767	171,395	預金利息 他
合計	8,569,000	12,829,395	4,260,395	

#### 支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 事務費	3,645,000	3,854,293	209,293	報酬、事務用品、光熱水、通信、印刷 他
2 交際費	140,000	132,000	△8,000	祝儀、饗別他
3 会議費	80,000	55,208	△24,792	理事会他
4 旅費	100,000	100,550	550	理事会、東京支部総会
5 事業費	4,140,000	4,330,128	190,128	総会、講演会、広報、支部活動、教育活動支援 他
6 広告費	250,000	291,060	41,060	新聞広告代
7 繰出金	200,000	3,493,000	3,293,000	終身会費積立へ
8 予備費	14,000	0	△14,000	
合計	8,569,000	12,256,239	3,687,239	

△：決算額が予算額より少ない場合

### 平成29年度 終身会費積立決算書 決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

単位：円

前年度末積立額	今年度変動額				今年度末積立額
	繰り入れ額	繰り出し額	利息	計	
9,917,555	3,493,000	1,242,000	64	2,251,064	12,168,619

### 平成29年度 基金積立会計 決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

単位：円

前年度末基金額	今年度変動額				今年度末基金額
	積立額	取崩額	利息	計	
4,202,690	0	0	425	425	4,203,115

監査の結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成30年4月12日

監事 小松登美子 金澤妙子



## ◆平成30年度 事業計画◆

**【目 標】** ◇同窓会組織および活動の充実、発展 ◇母校の教育活動支援

**【活動の重点】** ①会費制の充実、整備を図る ②本会、支部組織が機能、充実するための環境整備を行う  
③情報を積極的に発信する ④教育活動支援の定着化を進める

**【具体的推進事項】**

活 動	内 容
会 費 制 の 充 実、 整 備	◇在学時の終身会費納入が円滑に行われるよう関係の事務処理を整備する。 ◇会費制の定着を図るため、引き続き検討、周知を行う。
組 織 の 充 実	◇支部組織がより機能するための支援を行う。 ◇役員選出規則等の整備を進める。
情 報 の 発 信	◇会報の発行 ◇より多くの会員が興味を持てるよう、ホームページを活用し、積極的、効果的な情報の発信を行う。
母 校 の 教 育 活 動 支 援	◇教育諸活動への支援を定着化させる。 ・クラブ活動助成 ・学力向上、進路希望実現のための支援事業への助成 ・その他必要な助成 ◇卒業生へ記念品(卒業証書ホルダー)を贈呈する。

※上記活動を次の各組織、会議を中心として推進する

- 正副会長会 ・ 同窓会業務推進等全般について検討する
- 常任理事会 ・ 同窓会活動を推進し、組織の確立を図る
  - ・ 次の専門委員会を設置し、課題解決、効果的な活動の推進を行なう
    - 専門委員会 ①会費委員会 : 会費制の充実、整備を行う
    - ②教養文化委員会 : 同窓会主催の講演会、音楽会等を企画する
    - ③広報委員会 : 会報の発行、ホームページの整備を行う
    - ④組織検討委員会 : 同窓会組織の充実を図るため、支部組織の強化、整備、役員選出に関する規則等の整備を行う
- 理 事 会 ・ 各支部長により構成し、年2～3回開催する
- 総 会 ・ 年1回開催し、事業、決算等の承認を行う

**【特別推進事項】** 県教育委員会が推進する第2期高校再編計画を受けて、研究委員会を設置し、その対応にあたる。

### 平成30年度 一般会計 予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収 入 8,794,000円  
支 出 8,794,000円  
差 引 0円

**収入の部**

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 繰越金	573,156	363,628	209,528	前年度より
2 会 費	8,220,000	8,205,000	15,000	会費、入会金
3 繰入金	0	0	0	
4 雑収入	844	372	472	預金利息他
合 計	8,794,000	8,569,000	225,000	

**支出の部**

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 事務費	3,690,000	3,645,000	△ 45,000	報酬、事務用品、光熱水、通信、印刷 他
2 交際費	140,000	140,000	0	祝儀、香典、饗別他
3 会議費	60,000	80,000	△ 20,000	理事会他
4 旅 費	100,000	100,000	0	理事会、東京支部総会
5 事業費	4,370,000	4,140,000	230,000	総会、講演会、広報、支部活動、教育活動支援 他
6 広告費	250,000	250,000	0	新聞広告代
7 繰出金	180,000	200,000	△ 20,000	終身会費積立へ
8 予備費	4,000	14,000	△ 10,000	
合 計	8,794,000	8,569,000	225,000	

△: 予算額が前年度予算額より少ない場合

### 平成30年度 終身会費積立決算書 予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

単位:円

前年度末積立額	今年度変動予定額				今年度末積立見込額
	繰り入れ額	繰り出し額	利息	計	
12,168,619	180,000	1,743,000	71	△1,592,929	10,605,690

### 平成30年度 基金積立会計 予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

単位:円

前年度末基金額	今年度変動予定額				今年度末基金見込額
	積立額	取崩額	利息	計	
4,203,115	0	0	885	885	4,204,000



母校は明治44年、郷土の期待のもと、町立伊那実科高等女学校として開校され、昭和24年には長野県伊那弥生ヶ丘高等学校となり、また昭和52年には男女共学校となって歩みを重ねてきました。

創立107年となった本年度は、各学年6クラス、727名の生徒が伝統的な校風である「自主自立・文武両道」の精神のもと、文化や社会の担い手としての全人的教養とともに、理性的判断力、豊かな創造力を備えた人間となるべく、学習や学校行事、クラブ活動にと意欲的に取り組んでいます。

## □ 卒業生の進路状況 (平成30年3月)

2018年3月、241名の卒業生がそれぞれの道へと巣立ち、その進学状況がまとまりました。

多くの生徒が大学合格や就職試験突破を目指し、学習室での早朝から夜暗くなるまでの学習、また、月1回の土曜日には「弥生塾」において懸命に努力する姿がありました。

進学率の向上と受験を取り巻く環境の変化の中、学力向上と進路希望の実現に向けて、早期から将来の進路を見据え、目標と意欲を持ち、最後まであきらめずに向かう姿勢の大切さを感じます。

	進 学						計	就 職		計	その他		計	合計
	国公立大	私立大	国公立短大	私立短大	医専専門	他 専 門		公務員	民 間		浪 人	そ の 他		
男	17	70	0	1	0	5	93	2	1	3	7	0	7	103
女	27	88	1	5	5	6	132	0	2	2	3	1	4	138
計	44	158	1	6	5	11	225	2	3	5	10	1	11	241
合格延数	50	409	3	12	8	13	495							495

## 「武」からの学力向上 「文」からの技術向上

30を超える運動系、文化系のクラブがあり、活発に活動しています。

今年度は、全国高等学校総合文化祭「2018信州総文祭」が8/7～11、長野県で開催されます。県下各会場に全国から高校生が集まる熱い夏になります。地元伊那市では、郷土芸能部門が伊那文化会館で行われます。

## □ 本年度各大会の状況 (平成30年6月までの主な結果、状況)

### 【高等学校総合体育大会 (南信大会)】

- サッカー (男子) ベスト8
- バスケットボール (女子) 4位
- バドミントン (女子) 団体ベスト4
- 空手道 (男子) 個人5位
- バレーボール (女子) 7位
- 個人ダブルス3位
- 陸上 (男子) 200m 6位
- ソフトテニス (男子) 団体4位
- 卓球部 (女子) 団体5位
- 400m 2位、5位
- (女子) 団体準優勝
- 個人ダブルス2位
- 800m 5位、8位
- 個人準優勝、3位
- シングルス3位
- 400m障害3位
- テニス (女子) 団体準優勝
- シングルスベスト16
- 1600mリレー3位
- 個人ダブルス3位
- シングルス3位
- (女子) 400m障害7位
- 弓道 (男子) 団体7位
- 走り高跳び2位
- ソフトボール (女子) 3位
- 剣道 (男子) 団体4位、個人2位

### 【高等学校総合体育大会 (県大会)】

- ソフトテニス (女子) 団体3位
- 個人4位

### 【高等学校総合体育大会 (北信越大会)】

- ソフトボール (男子) 優勝
- 少林寺拳法 (単独演武)
- (女子) 個人2位

### 【高等学校総合体育大会 (全国大会)】 出場予定

- ソフトテニス (女子) 個人 (7/31～8/6 三重県鈴鹿市)
- ソフトボール (男子) (8/8～12 三重県熊野市)
- 少林寺拳法 (単独演武) 女子個人 (8/3～5 愛知県西尾市)



### 北信越地区高等学校野球長野県大会 (平成30年度春季) 南信予選会

- 野球部 優勝

### 「IKENOBO 花の甲子園 2017」の全国大会

- 華道部 昨年度の北信越地区代表として出場しました。





私たち硬式テニス部は、中学生のころから硬式テニスをやっていた人、中学生のころにはソフトテニスをやっていた人、中学のころには運動クラブに入っていないで高校に来るまでテニスラケットを握ったことのなかった初心者など、様々な人が集まる男女計14名で活動しています。

テニスは個人で戦うスポーツですが、私たちはチームで動くことを大切に活動しています。普段の練習や他校との練習試合や大会参加のとき、始まりと終わりに全員で円陣を組み、お互いの健闘誓ってエールを交わし、目標に向かってチーム全体で取り組んでいます。

女子の団体戦では、昨年の秋の南信新人戦優勝で、先輩方から繋ぎ続けて春秋12期連続優勝を達成しました。

苦しいときはみんなで励まし合い、楽しむときはみんなで大いに楽しみ、やるときはとことんやるということを大切にしています。これからもチーム一丸となって頑張っていきたいと思います！



硬式テニス部

原則の活動時間は、平日1時間15分、土曜3時間、日曜日がオフと他高校に比べて練習時間が少ないと思います。ネットを張る準備や片付けの時間を差し引くとシャトルを打てる時間が限られます。なので、無駄な行動がなくきびきび動くよう部員全員が心がけてないといけません。それなのに僕たちは、試合形式に重点をおいた練習ばかりをしていたため南信大会で団体、個人ともに県大会へ進むことができませんでした。ですが、後輩たちは、効率よく進めていくキャプテンの元、弱点を直す練習に重点をおいてがんばっています。秋の新人戦に向けて、筋トレを主に含めたサーキットトレーニング、コート隅から隅にシャトルを運ぶ下半身強化練習も毎日しているようです。勝つことも目的ですが、「挨拶をする」「返事をきちんとする」「まわりをイライラさせない」など社会性を磨くことも大切に活動しています。



男子バドミントン部

私たち茶道部は春宮先生のご指導のもと、3年生8名、2年生8名、1年生6名、計22名で毎週水曜日に活動しています。

主に文化祭でのお手前披露のために練習をしています。お手前の手順はとても難しく、覚えるのにとても苦労していますが、春宮先生の分かりやすいご指導や、仲間と確認し合い、教え合いながら練習しています。

また、毎年6月には表千家長野吉祥会主催の青葉の茶会に参加しています。

同窓会の皆様とご一緒しているのかもしれませんがね。

夏には京都研修があり、お家元のお茶会に参加しています。茶道部ではお茶を学ぶことを通して、お茶やお菓子のおいしさを知ること、一つ一つの道具を大切に使い、物の良さを知ること…。

貴重な機会に多く恵まれながら活動しています。

前述の通り、文化祭ではおいしいお菓子とともに、部員全員浴衣を着てお手前披露をしています。ぜひ足を運んでいただけたら嬉しいです。



茶道部



# 同窓会だより

同窓会を会員の皆様お一人お一人にとって身近なものとし、母校の発展のため支援をしていく役割を果たすために、ご意見をお伺いし、ご理解いただける同窓会をめざしてよりよい組織にしていきたいと思います。

□ 常任理事会では専門委員会を設置して同窓会活動を推進しています。



□ 支部の活動、同学年会、クラブOB会などが行われています。



□ 上伊那各地域の支部長で構成される理事会では、会員により近い立場から提言をし、活動の推進を具現化します。





## □ 高校改革について

県教育委員会が推進している「第2期高校再編計画」及びそれを受けての上伊那地域の動きについて、その概略と状況は次のとおりです

### 高校改革の必要性

#### 1 社会の変化への対応

→ 新たな社会を創造する力を学びの中で培っていく

#### 2 少子化への対応

- 中学卒業予定者が2031年には3/4に減少（全県）
- 近年の動向として、一定数の中学校卒業者の他地区への流出が続いている（上伊那地区）

#### 《県教育委員会》

(2018.3.29)

県立高校第2期再編の実施方針案を決定→上伊那地域は「再編の実施が前提」と明記

#### 《地域協議会》

(2018.6.4) 『上伊那地域の高校の将来像を考える協議会』発足

(2018.6~7) 関係者からの意見聴取

(2018.12) 地域懇談会・パブリックコメント

(2019.2) 成案公表

#### 《上伊那広域連合》

(2018.3.15)

『上伊那地域における高校教育の在り方』を県教委へ具申

#### 《同窓会としては》

現状把握及び課題共有を図るため、地域懇談会への出席や学習会の開催等の対応を図ってきました。また、今年度より高校改革研究委員会を設置し、具体的な推進を行うべく研究協議を行っていきます。

将来を見据えて、これからの子供たちのために、同窓会として何を後輩に残して行ったらよいかを見極めてこの課題に対処しなければならないと考えます。会員の皆様からのご意見をぜひお寄せください。

## 事務局からのお願い

### □ ご住所等に変更はございませんか

事務局では会員の皆様の情報をデータ管理しています。名簿は同窓会の基盤となるものです。連絡先等に変更のある場合は同封の『異動通知連絡はがき』にてご連絡ください。なお情報は「個人情報保護法方針」にもとづいて厳正に管理しています。

### □ ホームページをご覧ください

- 各組織や支部活動の紹介
- 同窓生同士がリレーして高校時代の思い出や現在社会で頑張っていること、様々な思いを寄稿する「同窓生の声リレー」
- 住所変更の連絡等々、会員の皆様に情報を広く発信し、交流が図られることを願っています。

<http://www.inayayoi-dousukai.com/>



若年層を含む同窓生のアクセス数向上を目的にパソコンだけでなくスマートフォンなどの携帯端末でも見やすい画面を設定しています。

### □ 情報をお寄せください

- 事務局には創立当初からの校舎や学校生活の写真、卒業アルバム、生徒会誌やクラス通信等が保管されています。その時代時代の様子を知ることができる貴重な資料です。しかしながら欠落しているものも多くあり、十分な記録となっていない状況です。可能でしたら是非お手元にあるお宝を同窓会全体のお宝としてご寄贈いただけましたらと存じます。

- 今教育界ではキャリア教育を推進しています。子供たちが希望を持って自分の未来を切り拓き、自立した社会人となるために家庭、地域、学校が連携して協力していくことが望まれています。そのために様々な分野でご活躍されている同窓生の方々の情報が重要です。同窓会でも人材の掘り起こしを行いたいと考えています。是非情報をお寄せ下さい。

## 会 員 各 位

伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会長 久保田 裕子

### 平成30年度年会費、終身会費納入のお願い

平成29年度同窓会年会費、終身会費を納入いただきましてありがとうございました。

皆様からの会費に支えられ、次のような活動を行ってまいります。本会の安定的な運営と母校への支援のため、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 会報の発行
- 支部活動等の支援
- 講演会、演奏会などの開催
- クラブ活動の助成と教育活動の支援

● 金 額 <年会費> 1,000円

<終身会費> 25,000円

※平成24年度から納めていただいている分を含めます。

ただし、次の「年齢による特例措置」により納めていただく場合は除きます。

※年齢による特例措置

60歳以上：10,000円

70歳以上：5,000円

80歳以上：任意

- 納入方法 <上伊那地区> 支部役員が訪問しますのでその際に納入していただくか、同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。(手数料無料)  
<上記以外> 同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。(手数料無料)

- 納入期限 平成30年11月30日までをお願いします。

※ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

### 編集後記

少子化の時代を迎え、高校再編は回避できない課題と思われまます。

どのような方向に進もうとも、将来を担う若き同窓生の学びを応援できる温かい同窓会でありたいものです。



伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会報 第9号 平成30年8月1日発行

発行人：伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 同窓会長 久保田裕子  
〒396-0026 長野県伊那市西町 5703  
TEL/FAX.0265-76-0615 E-mail : yayoidoso@heart.ocn.ne.jp

題 字：花岡多賀(旧姓：北林・高女36回) 伊那市西春近在住

印 刷：有限会社マスマタ印刷



伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 HP : <http://www.inayayai-dosoukai.com/>